

平成 30 年 度

小学校教員資格認定試験
教職に関する科目 (Ⅱ)

社 会

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験運営大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 運営大学名、氏名、受験番号、受験科目を平成 30 年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。
ただし、受験科目のマークについては、小学校の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、全て解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 50 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) ☑ ⊗ ⊕ ⊙

以下の問いでは、「小学校学習指導要領」とは「小学校学習指導要領(平成20年3月28日 文部科学省告示第27号)第2章 第2節 社会」を指し、『小学校学習指導要領解説』とは『小学校学習指導要領解説 社会編』(平成20年8月)を指すものとする。

問1 次の文は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」に示された第3学年及び第4学年の「内容」に関する記述である。これらの文のうち、誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 「自分たちの住んでいる身近な地域や市(区, 町, 村)」については、特色ある地形, 土地利用の様子, 主な公共施設などの場所と働き, 交通の様子, 新しく造られた建造物などを観察, 調査したり白地図にまとめたりして調べること。

イ 「地域の人々の生産や販売」については、地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などとのかかわりを、見学したり調査したりして調べること。

ウ 「県(都, 道, 府)の様子」については、県(都, 道, 府)全体の地形や主な産業の概要, 交通網の様子や主な都市の位置を、資料を活用したり白地図にまとめたりして調べること。

エ 「地域の人々の生活にとって必要な飲料水, 電気, ガスの確保や廃棄物の処理」については、これらの対策や事業は計画的, 協力的に進められていることを、見学, 調査したり資料を活用したりして調べること。

問2 次の文は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」に示された第3学年及び第4学年の「内容」に関する記述に、対応する「内容の取扱い」の説明を加えたものである。これらの文のうち、誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 「人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり」については、我が国や外国には国旗があることを理解させ、それを尊重する態度を育てるよう配慮すること。

イ 「地域社会における災害及び事故の防止」の「事故の防止」については、交通事故などの事故防止や防犯を取り上げるものとする。

ウ 「地域の発展に尽くした先人の具体的事例」については、主に開発と政治・経済において地域の発展に尽くした先人の中から選択して取り上げるものとする。

エ 「地域の人々の生活にとって必要な飲料水, 電気, ガスの確保や廃棄物の処理」及び「地域社会における災害及び事故の防止」にかかわって、地域の社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱うものとする。

問 3 次の表は、国立教育政策研究所「評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料(小学校 社会)」(平成 23 年 11 月)で示されている第 3 学年及び第 4 学年の評価の観点の趣旨である。表中の ~ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

<input type="text" value="A"/> への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用 の技能	<input type="text" value="A"/> について の知識・理解
地域における <input type="text" value="A"/> に関心をもち、それを意欲的に調べ、地域社会の一員としての自覚をもつとともに、地域社会に対する誇りと愛情をもとうとする。	地域における <input type="text" value="A"/> から学習問題を見いだして追究し、地域社会の <input type="text" value="A"/> の特色や相互の関連などについて思考・判断したことを適切に表現している。	地域における <input type="text" value="A"/> を的確に観察、調査したり、 <input type="text" value="B"/> や各種の具体的資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりしている。	地域の <input type="text" value="C"/> の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動、地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きを理解している。

	A	B	C
ア	社会的事象	統計	産業や消費生活
イ	人々の生活	地図	歴史や伝統行事
ウ	社会的事象	地図	産業や消費生活
エ	人々の生活	統計	歴史や伝統行事

問 4 次のA～Dの文は、『小学校学習指導要領解説』の「第3章 第1節 第3学年及び第4学年の目標と内容」の「1 目標」に関する記述である。これらの文のうち、正しいものの組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

A 「地域の産業や消費生活の様子」については、地域の人々の生産活動や販売活動の様子には特色があることや、県(都, 道, 府)内には特色ある産業があることを理解できるようにすることにねらいがある。

B 「地域社会の一員としての自覚をもつようにする」とは、児童一人一人が地域社会の一員であるという意識や、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境, 安全な社会を実現していくために共に努力し, 協力しようとする意識を育てるようにすることである。

C 「地域の地理的環境」については、身近な地域や市の様子はそれぞれの場所に共通する特色があることや、県の地理的位置や地形の様子, 県内には自然環境を保護・活用している地域が見られることを理解できるようにすることにねらいがある。

D 「人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働き」については、地域の人々の生活の様子が大きく変化してきたことや、特に地域の人々が伝統や文化を変化させることなく大切に守り受け継ごうとしていることに注目させ、地域の発展に尽くした先人の働きや苦心を理解できるようにすることにねらいがある。

ア AとB

イ AとC

ウ BとC

エ BとD

問 5 次の文は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」に示された第5学年の「内容」に関する記述である。これらの文のうち、(3)「我が国の工業生産」の記述として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 様々な工業製品が国民生活を支えていること。

イ 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など。

ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力, 工業生産を支える貿易や運輸などの働き。

エ 我が国を代表する自動車や精密機械などの, 工業生産の工程の詳細。

問 6 次の文は、『小学校学習指導要領解説』の「第3章 第2節 第5学年の目標と内容」の「1 目標」における調査や資料の活用に関する記述である。これらの文のうち、第5学年において考えられる効果的な調査や資料の活用について誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 資料から必要な情報を読み取る。
- イ 必要な資料を収集したり選択したりする。
- ウ 資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえる。
- エ 資料に示されている数や量に着目して調査する。

問 7 次のA～Dの文は、『小学校学習指導要領解説』の「第3章 第2節 第5学年の目標と内容」の「2 内容」に関する記述である。これらの文のうち、「我が国の情報産業や情報化した社会の様子」の解説として、正しいものの組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- A 「放送, 新聞などの産業と国民生活とのかかわり」を調べるとは, 日常の生活や産業における情報手段や情報の利用の様子を取り上げ, 放送, 新聞などの産業と国民生活とのかかわりを具体的に調べることである。
- B 「情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり」を調べるとは, 情報ネットワークを有効に活用して公共サービスの向上に努めている教育, 福祉, 医療, 司法などの事例のいずれかを取り上げ, 多種多様な情報を必要に応じて瞬時に受信したり発信したりすることができる情報ネットワークの働きが公共サービスの向上のために利用され, 国民生活に様々な影響を及ぼしていることを具体的に調べることである。
- C 実際の指導に当たっては, それらマスメディアの働きや, それを通して送り出された情報が国民に大きな影響を及ぼしていることを調べ, 情報を発信する側に求められる役割や責任の大きさ, 情報を受け取る側の正しい判断の必要性のどちらかを, 児童の興味・関心に合わせて選択して, 考えをまとめることが大切である。
- D コンピュータを実際に使ってインターネットで情報を収集したり発信したりする活動を取り入れることも考えられる。

- ア AとC
- イ AとD
- ウ BとC
- エ BとD

問 8 次の文は、「小学校学習指導要領」の「第2 各学年の目標及び内容」に示された第6学年の「内容」に関する記述である。これらの文のうち、誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 「我が国の政治の働き」については、日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていることを、調査したり資料を活用したりして調べること。

イ 「我が国の政治の働き」については、網羅的な扱いにならないよう、特に国民生活には国による政治の働きが反映していることを中心に、調査したり資料を活用したりして調べること。

ウ 「世界の中の日本の役割」については、我が国の国際交流や国際協力の様子及び平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働きを、調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べること。

エ 我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

問 9 次の文は、『小学校学習指導要領解説』の「第3章 第3節 第6学年の目標と内容」の「2 内容」における「内容の取扱い」に関する記述である。これらの文のうち、「国宝、重要文化財に指定されているものや、そのうち世界文化遺産に登録されているもの」を取り上げることについての解説として、誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 実際の指導においては、取り上げた文化遺産を通して、それらが我が国の先人の工夫や努力によって生み出されたものであることや、私たちの祖先の手によって現在まで大切に受け継がれてきたこと、それらは我が国の伝統や文化の特色や現在の私たちの生活や文化の源流などを考える上で欠かすことのできない高い価値を持っていることを具体的に理解できるようにするとともに、我が国の伝統や文化を大切にしようとする態度を育てるようにすることが大切である。

イ 「重要文化財」とは、国内の建造物、美術工芸品等の文化財の中から国によって指定されたものである。「国宝」とは、「重要文化財」のうち、学術的に価値が極めて高く、かつ代表的なものとして指定されたものである。

ウ 歴史的な事象と関連の深い国宝、重要文化財、世界文化遺産などの中から適切なものを取り上げ、世界各地の文化遺産を通して具体的な学習が展開できるよう配慮する必要がある。

エ 地域の実態を生かし、歴史的な事象に対する関心や理解を深める観点から、自分たちの住む県(都、道、府)や市(区、町、村)が指定している重要文化財などを取り上げることも一つの方法である。

問10 次のA～Dの文は、『小学校学習指導要領解説』の「第3章 第3節 第6学年の目標と内容」の「2 内容」に関する記述である。これらの文のうち、「世界の中の日本の役割」についての学習の解説として、正しいものの組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

A 「我が国の国際交流や国際協力の様子」について調べるとは、我が国のスポーツや文化が世界の人々に広まり親しまれていることを調べることや、我が国が教育や医学、農業などの分野で国際協力を行っている様子を取り上げ、我が国は世界の平和や発展のために貢献していることを調べることである。

B 「我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子」については、例えば、衣服や料理、食事の習慣、住居などの衣食住の特色や、国民に親しまれている行事、学校生活や子どもの遊び、あいさつの仕方やマナー等の習慣などを取り上げることが考えられる。

C 実際の指導に当たっては、児童が我が国とつながりが深い国から数か国を取り上げ、その中から、教師が児童の興味・関心や問題意識を踏まえて、調べる国を一か国指示して調べるようにすることが必要である。

D 実際の指導に当たっては、「国際交流」についてはスポーツ、文化の中から、「国際協力」については教育、医学、農業などの分野で世界に貢献している事例の中からそれぞれ選択して取り上げる。

ア AとC

イ AとD

ウ BとC

エ BとD

問11 次の文は、日本の各時代における法典^{へんきん}編纂について述べたものである。これらの文のうち、正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 646(大化2)年正月に施行された大宝律令により、唐にならった中央集権的な政治の仕組みが整った。

イ 源頼朝は御成敗式目を制定し、守護・地頭の職務や、裁判を公平に行う基準を明らかにした。

ウ 徳川家光が改訂した武家諸法度では、大名が国元^{くにもと}と江戸を交代で往復する参勤交代が制度化された。

エ 1890(明治23)年に公布された民法は、伝統的な家族道徳を存続させるものとして、自由民権派から批判された。

問12 次のア～エの文を古い順に並べ替えた場合、3番目に当たるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 過度経済力集中排除法により、日本製鉄などの巨大独占企業が分割された。
- イ 輸出が拡大するなか、日本資本が中国で操業する紡績工場(在華紡)が増加した。
- ウ 殖産興業の一環として、群馬県に官営模範工場である富岡製糸場が設立された。
- エ 重工業の基礎となる鉄鋼の国産化をめざして、官営八幡製鉄所が操業を開始した。

問13 次の文は、世界史における権力者と芸術の関係について述べたものである。これらの文のうち、誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 紀元前14世紀のエジプトで宗教改革を断行したアメンホテプ4世(イクナートン)は、自らの像を含む写実的な彫刻やレリーフを作らせ、いわゆるアマルナ美術が発展した。
- イ 北宋の第8代皇帝徽宗は、画院を保護して写実的な絵画を描かせ、自らも筆をとって「桃鳩図」を描くなど、院体画の発展を積極的に推進した。
- ウ ナポレオンは、ダヴィッドなど古典主義の表現を得意とする画家に自らを描かせ、フランス国民のリーダーとしてのイメージを宣伝した。
- エ 16世紀初頭のローマ教皇ユリウス2世は、ルーベンスやベラスケスなど華麗な宮廷を飾る肖像画を描く画家を庇護し、ルネサンス芸術の隆盛期を築いた。

問14 次の文は、世界史における各国の領土について述べたものである。これらの文のうち、誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 唐の勢力圏は7世紀後半に最大に達し、西は現在のカザフスタン西部から、東は現在の中国東北地方にまで及んだ。
- イ オスマン帝国は、19世紀の数度にわたるロシアとの戦争によりバルカン半島の諸民族が独立するまで、ハンガリーからボスポラス海峡に及ぶ広大な領域を支配していた。
- ウ アメリカ合衆国は、1783年のパリ条約によりイギリスからの独立が承認された際に、ミシシッピ川以東の広大な領土を手に入れた。
- エ 第二次世界大戦におけるドイツの敗北の結果、ドイツ領であった飛び地の東プロイセンはソ連とポーランドに分割併合され、ソ連の併合した部分は現在もなおロシアの領土となっている。

問15 次のア～エの組合せは、ドイツの気候学者ケッペン(Wladimir Peter Köppen ; 1846～1940)による世界の気候区分に基づいて、左から順に「植生」, 「土壌」, 「気候帯」, 「それらのみられる国」を示したものである。これらの組合せのうち、誤っているものを, 次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア セルバ — ラテライト — 気候帯 A — ブラジル
- イ ステップ — テラロッサ — 気候帯 B — ウクライナ
- ウ 落葉広葉樹林 — 褐色森林土 — 気候帯 C — 日本
- エ タイガ — ポドゾル — 気候帯 D — カナダ

問16 プレートテクトニクスの考え方において、世界の変動帯と深く関わりとされているプレートの境界を「狭まる境界」, 「広がる境界」, 「ずれる境界」の三つに分類したとき、次のグループのうち誤っているものを, 次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 北アメリカプレートとアフリカプレートはずれる境界である。
- イ インド・オーストラリアプレートとアフリカプレートは広がる境界である。
- ウ フィリピン海プレートとユーラシアプレートは狭まる境界である。
- エ 南極プレートとアフリカプレートは広がる境界である。

問17 次の文は、貿易に関わる用語を説明したものである。これらの文のうち、誤っているものを, 次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア FTA(自由貿易協定)は特定の国や地域間で関税、輸入割当など貿易を制限する措置を撤廃、削減することを目的としたもので、多くは二カ国間であるが例えばアメリカ、カナダ、メキシコの三カ国間の FTA として NAFTA がある。
- イ WTO(世界貿易機関)は、すべての加盟国に同等の貿易条件を与えること、関税を除き輸入品を国産品と同等に扱うことの二大原則の下で、世界の経済発展・拡大と紛争処理システムの強化を目的として設立された。
- ウ APEC(アジア太平洋経済協力)は、アジア太平洋地域の国々と地域が参加する経済協力の枠組みであり、貿易や投資の自由化、経済協力等の活動を行うことを目的としている。
- エ GATT(関税と貿易に関する一般協定)は世界における自由貿易体制の構築を目的としたもので、先進国の農業製品を中心に関税が大幅に引き下げられ、後の WTO 設立につながった。

問18 次の文は、民主政治に関する諸概念について述べたものである。これらの文のうち、正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 立憲主義とは、国家権力が国民の基本的人権をみだりに侵害しないよう、憲法が国家の権力行使に枠をはめるという考え方である。
- イ 国民主権とは、国家の各部分が相互に監視し合い、均衡・抑制し合うことで、権力の暴走を制度的に予防しようという考え方である。
- ウ 自然権思想とは、国家の政治の最終的な決定権の所在が国民にあるという考え方である。
- エ 社会契約説とは、統治権力を聖なる契約によって神が国王に授けたとする考え方で、絶対王政を正当化する思想となった。

問19 次の等式は、国民所得の関係を説明したものである。これらの等式で、誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 国民総生産(GNP) = 国内総生産額 - 中間生産物の額 + 海外からの純所得
- イ 国民総生産(GNP) = 国民純生産(NNP) + 固定資本減耗
- ウ 国民総生産(GNP) = 国民所得(NI) - (間接税 - 補助金) + 固定資本減耗
- エ 国民総生産(GNP) = 国内総生産(GDP) + 海外からの純所得

問20 次の文章は、戦後日本の家族について述べたものである。これらの文章のうち、誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 1950年代に、核家族化が顕著に進行した。核家族とは一組の夫婦と未婚の子どもからなる家族、または夫婦のみの家族をいう。
- イ 少子社会が続いている。一人の女性が一生涯に産む子どもの数、合計特殊出生率は1975年に2.0を割り込み、2016年には1.44人になった。
- ウ 1985年の男女雇用機会均等法の制正、1997年の改正により、女性の社会進出が拡大し、「男は仕事、女は家事・育児」という固定的な性別役割の考え方も変化しつつある。
- エ 少子化対策の推進のために、政府は1994年に「エンゼルプラン」、1999年に「新エンゼルプラン」を策定した。